

大学コンソーシアムやまがた 幹事会 記録

| | | | |
|-----|---------------------------|------|----------------------------|
| 日時 | 平成19年3月30日(金) 14:00~15:30 | | |
| 場所 | 山形大学事務局3F第1会議室 | | |
| 出席者 | 委員長 | 柴田洋雄 | 山形大学副学長 |
| | 副委員長 | 大場英次 | 東北芸術工科大学事務局次長 |
| | | 〃 | 峯田喜八郎 県立米沢女子短期大学事務局長 |
| | | 〃 | 佐藤孝也 山形短期大学学務部長 教授 |
| | 委員 | 中村三春 | 総務運営委員会委員長/山形大学 教授 |
| | | 〃 | 松田幹夫 教育連携部会長/県立保健医療大学 教授 |
| | | 〃 | 池田浩一 (代理)東北公益文科大学山形事務所長 |
| | | 〃 | 友光健二 学術情報部会長/山形大学学術情報部長 |
| | | 〃 | 三浦正昭 山形大学企画部長 |
| | | 〃 | 伊東知之 (代理)羽陽学園短期大学 助教授 |
| | | 〃 | 江口裕之 (代理)鶴岡工業高等専門学校 企画連携係長 |
| | | 〃 | 奥山克郎 放送大学山形学習センター所長 |
| | | 〃 | 富樫栄一 山形県文化環境部学術振興課長 |
| 欠席者 | 副委員長 | 安達幸世 | 県立保健医療大学事務局長 |
| | 委員 | 佐藤禎介 | 東北公益文科大学事務局長 |

議事に先立ち、委員長から、昨年11月に新設した学術情報部会の部会長として新たに委員となった山形大学友光学術情報部長と、代理出席者の紹介があった。

議題1 平成18年度事業報告および収支決算見込について

総務運営委員会委員長の中村委員から、資料1-1に基づき、18年度の事業報告書(案)についての説明と、事務局から資料1-2に基づき、18年度の収支決算見込について説明があった。

次いで、質疑応答・意見交換の後、委員長から、事業報告書(案)について諮られた結果、原案どおり了承され定期総会に提案することになった。また、委員長から、収支決算書(案)については、次回の本会において最終的な決算案を審議いただき定期総会に提案することにした旨説明があり了承された。

質疑応答・意見交換の主な内容は次のとおり。

Q・共同公開講座について、予算額に比して決算額が2倍以上になった理由は。

A・講座の内容が「子ども」をテーマにしたものであり、広報の手段として保育園・幼稚園児に案内チラシを配付する方法をとったため、チラシの印刷数量が多くなり、印刷費が高んでしまったためである。今後は、予算額に見合った適正な執行を促していく。

Q・本コンソーシアム会長に講演依頼があったことや、他団体から視察等があったことも、交流の実績として報告書（案）に盛り込んではいかがか。

A・総会に向けて報告書（案）に盛り込む。

議題2 平成19年度新規正会員の入会について

委員長から資料2に基づき、県立産業技術短期大学校および県立農業大学校の2校から、本コンソーシアムの正会員への加入申込みがあった旨、また、入会については会則により本幹事会において決定することになっている旨の説明があった。

次いで委員長から、両校の加入について諮られた結果、異議なく承認された。なお、委員長から、本件については会長に報告する旨発言があった。

議題3 平成19年度事業計画および収支予算について

総務運営委員会委員長の中村委員から、資料3-1に基づき19年度の事業計画書（案）についての説明と、事務局から資料3-2に基づき19年度の収支予算書（案）について説明があった。

次いで、質疑応答・意見交換の後、委員長から、事業計画書（案）について諮られた結果、原案どおり了承され定期総会に提案することになった。また、委員長から、収支予算書（案）については18年度の決算との関係から、次回の本会において再度審議いただき定期総会に提案することにしたい旨説明があり了承された。なお、一部事業の総会開催前実施について了承された。

事業計画・予算案の説明および質疑応答・意見交換等の主な内容は次のとおり。

- ・新規事業は、単位互換事業の「ゆうキャンパス講座」、県からの補助事業の「地域づくりセミナー」、県との共同事業の「やまがたサイエンスカフェ」である。
- ・大学入試センターとの共催の「山形県大学ガイダンスセミナー」は19年度も継続する。
- ・事務局の職員（6Hパート）を1人増員で人件費を計上している。
- ・20年度以降の機関負担金（会費）の積算等について、秋までに検討したい。

Q・事務局職員の人件費増は、各機関の負担金の増につながるのでは。

A・結果的に負担金増になる可能性もあるが、単位互換等の業務および事業の受託等の増加により、事務局業務が増大しており、総務運営委員会において検討し了承を得ているものである。

Q・学生連携活動経費は、18年度は実績なしで、また、大学独自でも実施しているものがあるとのことだが、コンソーシアムとして必要な事業なのか。

A・部会からの要望もあり、学生が連携して企画し地域活動に繋がるもので、新規に行うものを対象として計上している。

Q・新規の「やまがたサイエンスカフェ」は会場等は決まっているのか。

A・企画はこれからだが、県内各地で、会場も経費のかからない場所だと考えている。

議題4 平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」への申請について

委員長から、本件については各機関にお知らせしながら申請の準備を進めているものであり、申請にあたっては参加各機関の了承を必要とするものである旨説明の後、総務運営委員会委員

長の中村委員から、資料4-1～3に基づき説明があった。

次いで質疑応答・意見交換の後、委員長から、放送大学山形学習センター及び山形県を除く、本プログラムへの参加予定機関に対し参加についての確認が行われた結果、全機関の参加が確認された。

質疑応答・意見交換等の主な内容は次のとおり。

Q・様式5の経費についての自己負担額の出所はどこか。

A・主申請者である山形大学が負担する。

Q・新規加入となる県立の産業技術短期大学校と農業大学校はどう扱われるのか。

A・申請時の共同申請校には入れないが、コンソーシアムの参加機関としてプログラムには参加してもらうことになる。

- ・申請までの間、細部の変更が出てくると思われる。申請後に最終版を送付させてもらう。また、申請に必要な事項や留意事項については総務運営委員を通じてお知らせするので、ご協力いただきたい。

議題5 その他

(1) 総務運営委員会の委員の構成について

総務運営委員会委員長の中村員から、総務運営委員会の構成員について、同委員会は3事業部会の総括的立場にあることから、19年度から、委員会の構成員に教育連携部会および学術情報部会の各部会長を加えることとしたい旨説明があり、委員長から諮られた結果、了承された。

(2) 議事録署名人について


委員長から、本日の議事録署名人を、友光委員および三浦委員にお願いしたい旨提案があり了承された。

(配付資料)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 資料1-1 | 平成18年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案) |
| 資料1-2 | 平成18年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案) |
| 資料2 | 大学コンソーシアムやまがたへの入会申込みについて |
| 資料3-1 | 平成19年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案) |
| 資料3-2 | 平成19年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案) |
| 資料4-1 | 平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」申請書(案) |
| 資料4-2 | 平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」申請書説明文 |
| 資料4-3 | 各参加機関への依頼文書 |
| 参考資料 | 大学コンソーシアムやまがた会則 |

議事録署名人

山形大学副学長

柴田洋雄 

山形大学学術情報部長

友光健二 

山形大学企画部長

三浦正昭 